



豊田中学校 学校だより

# 豊田の里

平成 29 年 8 月 31 日

第 10 号

発行 豊田中学校

## 8 月 29 日（火） 2 学期 始業式の話

校長 倉島茂見

今日から 2 学期がスタートです。

夏季休業中には、大きなケガや事故の報告はありませんでした。全員が 3 8 日間の夏休みを過ごし、元気に笑顔で始業式が迎えられたこと、うれしく思います。また、みなさんの表情を見ると、夏休み中の頑張ったことへの成就感や達成感、ひさしぶりに友達と出会えたことのうれしさや 2 学期への期待や希望など、様々な前向きな気持ちが表れているように感じます。きっと、1 学期終業式でお話した「やる気スイッチ」のオンとオフがしっかりできたのではないかと思います。2 学期も「やる気スイッチ」のオンとオフをしっかりと、充実した 2 学期にしていきたいと思います。

さて、今日は、大きく 2 つお話ししたいと思います。1 つめは、夏季休業中にあった出来事について 3 点、2 つめは、今日から始まった 2 学期に皆さんにがんばってほしいことについてです。

大きな 1 つ目は、夏季休業中にあったことです。

まずは、夏の中体連関係での部活動等の活躍です。本日表彰もあったのでよくわかると思いますが、県・東海・全国大会等、上位の大会での活躍です。結果はもちろん、態度や姿勢などでも豊田中は高い評価をいただきました。勝ち抜いた部活動だけでなく、すべての部で、2 年半の練習の成果を発揮することができたことを本当に嬉しく思っています。日々力をたくわえ、大切なときに思い切り発揮する。まさに「やる気スイッチ」のオンとオフ。このことは、すべてに通じることだと思います。

次に、世界陸上大会です。ウサイン・ボルト選手の引退という大きな話題があり、テレビで見た人も多いと思います。その中で、男子 100m × 4 リレーで日本チームが 3 位に入賞したことや、静岡県出身の飯塚翔太選手がリレーメンバーの一員であったことでも大きな話題となりました。私もニュースの映像を何度も見入ってしまいました。100m と言えば、日本選手が 10 秒を切るかどうか注目されています。不思議なことに、数年前までは 10 秒は越えられない壁といった印象が強く、未だ日本人で越えられた選手はいません。かつては世界においても越えられた選手はほんの数人だけでした。しかし、1990 年代以降、一気に増加してきました。これは、シューズやグラウンドの改良、科学的なトレーニングの導入など様々な要因があると言われていますが、私は個人的に心理的な要因もあると思っています。つまり、越えられないという思い込みが越えられなくしている、自分の心の中に越えられない壁を作ってしまったのではないかということです。だから、越えられる選手が多くなってきて、自分も越えられるかもという思いが、現実として壁を越えることにつながっていくのだと思います。日本人が 10 秒の壁を越える日は本当に近いでしょう。そして、一人越えると一気に数人が越えるようになるのではないかというのが、私の予想です。皆さんはどう思いますか。

三つ目は、「キビシー」というテレビ番組です。見た人もいるかもしれませんが、後でその内容に触れますね。

さて、2 点目の話に入ります。それは、2 学期に皆さんにがんばってほしいことです。

繰り返しになりますが、一つ目は、中体連の活躍から学んだように、日々力をたくわえ、大切なときに思い切り発揮すること。

二つ目は、世界陸上から学んだように、自分の心の中にある限界の壁を崩すこと、です。

そして、三つ目は、それらをみんなで成し遂げようということです。先に話した、大切なときに思い切り力を発揮することや、限界の壁を越えることは、一人よりもみんなでやることの方が実現

しやすいからです。

先ほど話した「キビシー！」というTV番組は8/25に放映されたものです。その中で鹿児島県の桜島からその対岸まで4.2キロの海を泳ぐ「桜島・錦江湾横断遠泳」に挑む小学生たちのお話がありました。小学校4年から6年までが隊列を組んで4.2kmを泳ぐのですが、その中にまったく泳げなかったり、泳ぐことが苦手な子がいたのです。その子が家族や仲間の応援を受けて厳しい練習に耐え、最後に4.2km泳ぎ切ることができたというお話です。皆さんの中にも部活動や学級での取り組みの中で経験したことのある人も多いのではないかとおもいますが、みんなで心をつなげたとき、みんなの暖かい応援や励ましを受けたとき、思った以上の力を発揮することができるものです。2学期は、知っての通り、体育大会や合唱コンクールなど、みんなの心をつなげる機会が多くあります。そんなときこそ、自分の力を思い切り発揮する場、そして自分の限界を超えるチャンスなのです。

一人一人のやる気スイッチのオン・オフと、みんなの力で、70周年にふさわしい行事の盛り上がり、そして充実した2学期となることを期待しています。

以上、お話を終わります。

## 大会結果

吹奏楽部 7月29日(土) 静岡県吹奏楽コンクール  
中学校の部 西部地区大会 銅賞



県大会(団体)	日時	結果
バレーボール男子	7月26日(水)	●0-2掛川北中
ソフトテニス女子	7月27日(木)	●1-2浜名中

競技名(個人)	結果
ソフトテニス女子	静岡県中学校総合体育大会 酒井菜穂・加藤里菜ペア 3位 東海大会出場
陸上競技	静岡県中学通信陸上競技大会 小長井花 女子1年100m出場 坂井菜々美 女子3年100m3位、女子共通200m第3位 東海中学校総合体育大会陸上競技の部 坂井菜々美、女子共通200m第5位 全国中学校総合体育大会陸上競技の部 坂井菜々美 女子共通200m準決勝出場
陸上競技 (7月29日 磐周大会)	女子3年 100m 坂井菜々美 1位 男子2年1500m 今田綾真 3位 女子共通 200m 坂井菜々美 1位 女子共通4×100mリレー 2位 " 小永井花 7位 坂井菜々美、佐藤優莉、 女子1年 100m 小永井花 1位 小永井花、小永井心 " 小永井心 6位
陸上競技	静岡県陸上競技ジュニアオリンピック大会 坂井菜々美 女子A 200m 優勝
バレーボール男子	JOCカップ全国都道府県対抗中学バレーボール大会静岡県選手団 佐野冬真
技術・家庭課	創造ものづくり教育フェア生徒作品コンクール磐周特選 根津渚 特選

## オリンピック・パラリンピック フラッグセレモニーが行われました

リオ市から引き継いだ東京五輪とパラリンピックの旗が東京都内を皮切りに全国を巡回しています。8月22日(火)磐田市役所において、豊田中学校と東部小学校が旗を市長、教育長に手渡すフラッグセレモニーが行われました。豊田中学校では増山千菜美さんが代表として市長に旗を手渡し、「本物の旗に感動しました。大会にはボランティアとして参加し、外国の人と交流したい」と、五輪への思いを語りました。

